

第 5 章

施策No.

5-1

学校教育の充実

▼政策目標

5 新時代を拓き生き抜く人材を育成するうわじま

▼施策

5-1 学校教育の充実

5-2 生涯学習の充実

5-3 スポーツの振興

5-4 文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用

5-5 青少年の健全育成

5-6 国際化・地域間交流の推進

▼施策の内容

5-1-1 幼稚園教育の充実

P191

▼主要事業

教育活動・教育環境整備事業

5-1-2 生きる力を育む教育活動の推進

P191

特色ある学校づくり推進事業

生きる力を育む教育推進事業

特別支援教育推進事業

5-1-3 学校施設の整備と統廃合の検討・推進

P191

学校施設耐震化事業

学校統廃合検討事業

5-1-4 心の問題への対応

P192

生徒指導推進事業

健全育成推進事業

5-1-5 学校給食の充実

P192

給食施設整備事業

給食運営事業

5-1-6 教職員の資質・能力の向上

P192

教職員の指導力向上事業

5-1-7 総合的な安全対策の推進

P192

健康安全教育推進事業

5-1-8 高等学校・高等教育機関との連携

P193

産学官連携推進事業



1 学校教育の充実

施策の方針

新時代の本市を担う人材の育成に向け、生きる力（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）を育む教育活動の推進、学校施設の耐震化をはじめ、総合的な学校教育環境の向上に努めます。

現状と課題

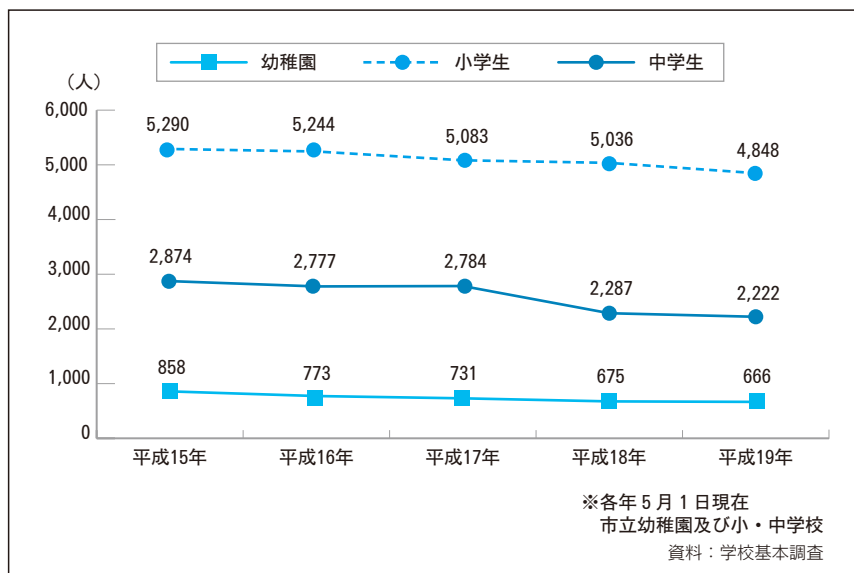
少子化や核家族化の進行をはじめ社会・経済情勢が大きく変化する中、児童・生徒の学力の低下、規範意識の低下、不登校、非行、健康・体力面の課題など児童・生徒の課題とともに、教員の資質向上や教育ニーズの多様化に的確に対応できる学校運営など、教育課題は極めて複雑多様化しています。このような中、国では教育基本法の改正をはじめ教育関連法案の改正などにより改革を進めています。

平成19年5月現在、本市には、市立の幼稚園が8園あるほか、小学校が39校（うち2校分校）、中学校が7校あります。

本市では、社会変化に即した教育内容の充実や学校施設の整備をはじめ、教育環境の整備を積極的に進めてきましたが、少子化や人口減少に伴い園児・児童・生徒が年々減少し、その対策が大きな課題となっているほか、南海・東南海地震に備えた学校施設の耐震化、人間形成の基礎を培う幼児教育の充実、これからの変化の激しい社会の中で生き抜いていくための教育内容の一層の充実、いじめや不登校などへの対応、給食体制の充実、安全性の確保などが課題となっています。

このため、今後は、学校施設の計画的整備や学校統廃合の検討・推進を図り、子どもたちが安心して伸び伸びと活動できる環境づくりに努めるとともに、幼児教育機能の充実や生きる力の育成を重視した特色ある教育活動の推進、心の問題への対応、学校給食センターの整備、さらには家庭、地域、学校が一体となった安全対策の推進など、総合的な取り組みを進めていく必要があります。

●園児・児童・生徒数の推移●



● 施策の内容

5-1-1 幼稚園教育の充実

生きる力の基礎を培う幼児教育の重要性を踏まえ、幼稚園における教育内容・指導体制の充実、幼稚園・保育所と小学校の連携強化を図るとともに、幼稚園と保育所機能の統合化について検討していきます。

主要事業

教育活動・教育環境整備事業

5-1-2 生きる力を育む教育活動の推進

- ① 確かな学力の育成に向け、指導体制の充実及び小・中学校の連携強化を図るとともに、本市の自然や歴史、産業、人材など地域の教育力を活用した特色ある教育・特色ある学校づくりの推進、外国語教育、情報教育、環境教育など社会変化に対応した教育の充実を図ります。
- ② 豊かな人間性の育成に向け、道徳教育や人権教育、福祉教育の充実を図ります。
- ③ 健康・体力の育成に向け、体育、健康教育の充実を図るとともに、関連部門が一体となって食育を推進します。
- ④ 関係機関との連携のもと、特別支援教育の充実を図るとともに、適切な就学相談・指導に努めます。
- ⑤ 地域との交流や施設の開放、地域住民による学校評価の実施など、家庭や地域と一体となった開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを進めます。

主要事業

特色ある学校づくり推進事業

特別支援教育推進事業

生きる力を育む教育推進事業

5-1-3 学校施設の整備と統廃合の検討・推進

- ① 耐震化をはじめ、老朽化への対応や安全管理の充実に向け、緊急度の高いものから学校施設の整備を計画的に推進します。
- ② 情報教育のためのパソコンの更新など、教育内容の充実に即した設備や教材・教具の整備を図ります。
- ③ 園児・児童・生徒数の減少を考慮し、教育環境の充実を図るため、地域住民の意見を尊重しながら、学校施設の統廃合及び学区の再編を検討・推進します。

主要事業

学校施設耐震化事業

学校統廃合検討事業



5-1-4 心の問題への対応

いじめや不登校を生まない学校づくりのための生徒指導の充実、相談員の配置等による相談体制の充実を図り、心の問題へのきめ細かな対応に努めます。



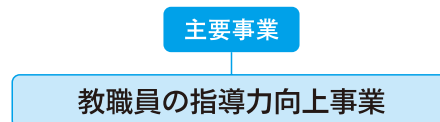
5-1-5 学校給食の充実

新たな学校給食センターの整備をはじめ、全市的な給食体制の充実を図り、安全・安心でおいしい給食の提供と地産地消、食育の視点に立った取り組みを進めます。



5-1-6 教職員の資質・能力の向上

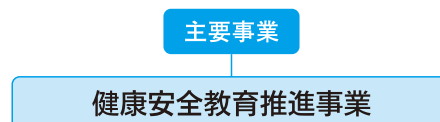
教職員の研修や研究活動の充実を促進し、教育専門職としての自覚と使命感の高揚、指導力の向上に努めます。



5-1-7 総合的な安全対策の推進

**重点
プログラム⑤**

防犯ブザーの配布や見守り隊の活動の充実促進等を通じ、児童・生徒の登下校時の安全対策の一層の強化を進めるとともに、安全対策に関する体験的学習の推進や学校内における防犯施設・設備の整備を進めるなど、総合的な安全対策を推進します。



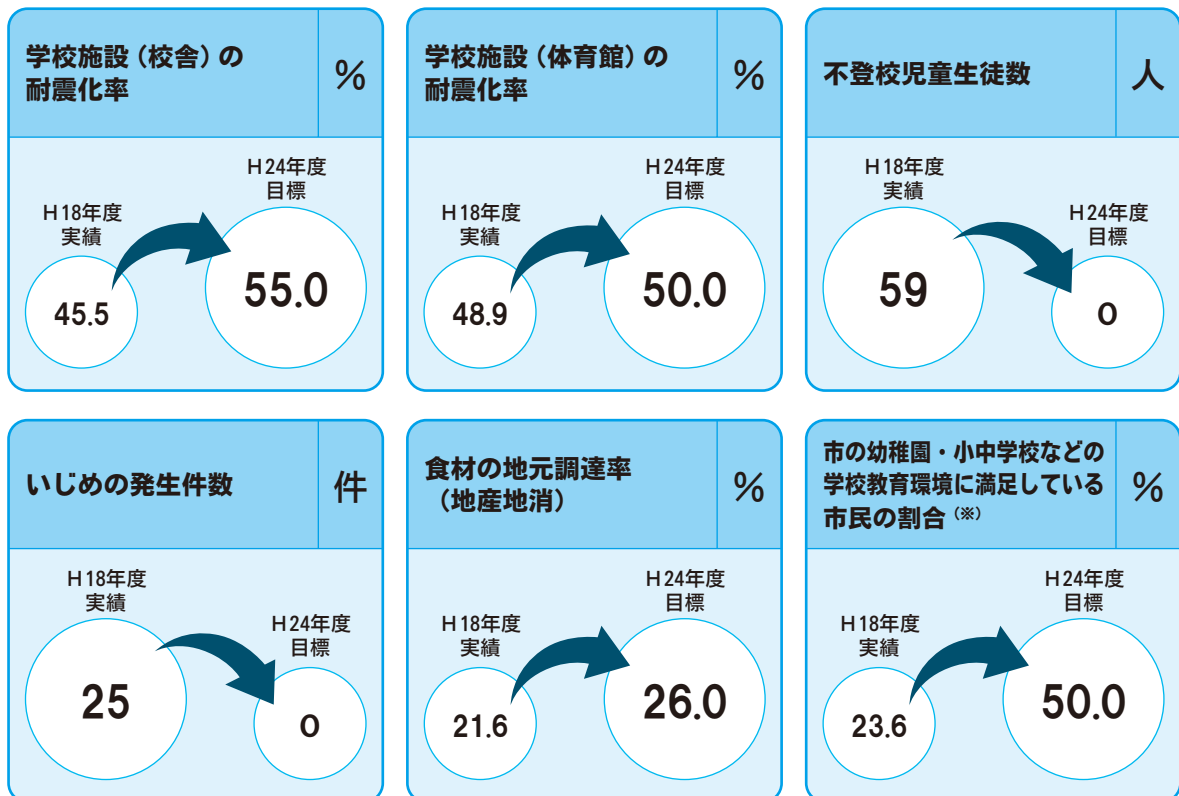
5-1-8 高等学校・高等教育機関との連携

市一体となって地域活性化とそのための人材育成を進めるため、市内の高等学校・高等教育機関との連携を強化し、教育内容の充実や地域との交流を促進していくほか、大学など新たな高等教育機関の誘致に向けた取り組みを推進します。

主要事業

産学官連携推進事業

● 成果指標



注）（※）の市民の割合（実績）は、平成18年6月に行った住民アンケート調査の結果による。



もうりけ
毛利家の

きゅうしょう や や しき
旧庄屋敷

かき
柿すだれ

旧毛利家庄屋住宅



三間町是能にある旧毛利家庄屋住宅は、約250年前に建てられました。初代当主の甚蔵が主屋を、4代源蔵が長屋門を建築しました。一列並び型（ドマ・カッテ・オク）に座敷部（次の間・ザシキ）を角屋として延ばし、家全体が鍵屋、角屋座敷という県下でも2棟しかない珍しい造りになっています。主屋、長屋門、納屋、土蔵そして中庭と江戸時代の庄屋屋敷の全体をよく残しており、当時の農村文化を知るうえでも貴重な財産です。



やまじこ
山路越えて

う わ かい いち ぼう
宇和海一望

ほ け つ とうげ
法華津峠

法華津峠



足摺宇和海国立公園に指定されている法華津峠は吉田町と西予市との境にあり、昭和45（1970）年までは国道56号線として活躍し宇和島街道最大の難所といわれました。頂上からの眺めは絶景で、由良半島から日振島、戸島、晴れた日には、はるか九州まで見渡せます。展望公園にある歌碑「山路越えて～」は、松山城南海校の初代校長西村清雄がキリスト教伝道のために宇和島を訪れた帰り、峠で作った歌の一節で賛美歌404番として知られています。